

なごやの両生類たち

名古屋市立大学システム自然科学研究科
生物多様性研究センター



名古屋市内にいる両生類



シュレーゲルアオガエル トノサマガエル ニホンアカガエル ナゴヤダルマガエル

ツチガエル アズマヒキガエル カスミサンショウウオ アカハライモリ

なごや絶滅危惧種



ヌマガエル ニホンアマガエル

10種類が生息。うち8種類が絶滅危惧種

* ツチガエル 絶滅危惧 I A

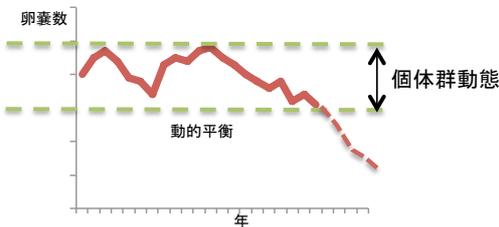


- ・北区と中区の一部にのみ生息。
- ・中区は街の中心の公園に生息。



中区の産卵場所

* アズマヒキガエル 絶滅危惧 II 類



一繁殖集団の卵数変動推定モデル

- ・産卵数がここ数年で激減している。
- ・産卵場所が消失している。
- ・感染症などが懸念されている。



アズマヒキガエルの卵塊

* トノサマガエル 絶滅危惧 II 類



- ・生息場所はナゴヤダルマガエルより多いが、生息環境が悪化している。



天白区の生息場所



井戸から出られない風景

* ナゴヤダルマガエル 絶滅危惧 I A



- ・生息場所が少ない。
- ・名古屋市の周りには多く生息する。



港区の生息地



名古屋市中心部。市外地には生息する。

* ニホンアカガエル 絶滅危惧 I B



- ・丘陵地に多く生息するが、個体数が減る傾向にある。
- ・名古屋城のお堀で生息が確認。



中区の生息場所



ニホンアカガエルの卵塊

* シュレーゲルアオガエル 絶滅危惧 I A



- ・かつては市境に大きな生息場所があったが消滅した。
- ・名東区の極限られた場所のみ生息。



過去の生息場所



現在の状況

* アカハライモリ 絶滅危惧 I A



- ・千種区と天白区のごく限られた場所のみに生息。
- ・かなり危機的な状況。



アカハライモリの生息場所

レッドリストで絶滅危惧種に指定された種は、今後の環境指標として大いに役立つと思われます。名古屋市内に生息する両生類では8割の種が絶滅危惧種に指定されており、非常に危機的な状況です。今後はこれらを踏まえて生息環境の保全や、個体数や遺伝的多様性の継続的なモニタリング調査が必要であると考えられます。